



本日の例会

第1214回 例会

平成14年10月16日(水)

クラブ協議会

(公式訪問に備えて)

次の例会案内

第1215回 例会

平成14年10月23日(水)

岡村ガバナー公式訪問

—先週の例会(第1213回)報告— 平成14年10月9日(水) 開会点鐘 12:30

ロータリーソング

「奉仕の理想」

会長報告

皆さんこんにちは、すばらしい秋日和です。本日のお客様をご紹介いたします。第2650地区米山奨学委員会副委員長で鯖江ロータリークラブの酒井重孝様です。そして本日卓話ををお願いしました米山奨学生の岳紅(ユエーホン)さんです。

先般の山中ロータリークラブとの友好交流会はご苦労さまでした。5日のI.Mにも出席いただいた皆様ありがとうございました。県下の会長会議において次年度のI.Mは10月4日、勝山ロータリークラブのホストで開催、地区大会は11月の15~16日です。それからI.Mの席上、米山記念奨学1000万円達成の表彰をいただきました。本日の人生訓として「秋清風月佳」をおくります。おおいに秋を楽しんで下さい。

ビチャイ・ラタクル
2002-03年度国際ロータリー会長

地区スローガン

『常に心して、
歩いた後に
平和の花を
咲かせましょう』

Always Remember in Your Heart
To Nourish the Flowers of Peace
on Your Passing

RI第2650地区ガバナー 岡村吾郎

10月会員誕生日

- 1日 中田君
- 2日 小見山君、前川君
- 6日 南出君
- 8日 高本君
- 9日 中山君
- 23日 林田千之君、前田君
- 30日 石橋君

10月ご夫人誕生日

- 9日 澤田会員夫人 好子さん
- 14日 奥村会員夫人 秋子さん

10月会員結婚記念日

- 1日 吉川君
- 7日 釣部勝義君
- 20日 山岸君
- 25日 岡本君

幹事報告 [来信]

ガバナーエレクト事務所より…

- * インターアクト活動費協力分担金について
- * カンボジアミッション参加者募集について

鯖江北RCより…

- * I.M参加お礼状

委員会報告

社会奉仕委員会 (本田)

13日の古城祭について、今年は総務部会の副委員長に小見山会長がなり、出陣式の会場準備等要請がありましたので皆さんのご協力をお願いします。当日、10時~12時福井信用金庫本町支店前でもちまきのステージづくり、午後は1時迄に天守閣の広場前まで集合いただき、出陣式の会場づくり、2時30分より出陣式で、これに5名の出席要請があり、それぞれの都合に依り北勇一副会長、石橋幹事、北昭弘職業奉仕委員長、高嶋青少年委員長、谷口国際奉仕副委員長の方にお願いしたいと思います。またもちまきのために6時迄に信金本町支店前に集合下さい。社会奉仕委員会の方は出来るだけ10時からの準備を手伝って頂きたいと思います。どうかよろしくお願いします。

米山奨学委員会 (岩田)

先程、会長より報告がございましたが、丸岡ロータリークラブが1000万円達成につき、表彰状をいただきましたのでご報告いたします。

ビジター者名 (10/9)

(鯖江) 酒井重孝

県内クラブ
例会日— 月曜日 —
福井東 高砂 殿— 火曜日 —
福井南 繩協ビル 8階
勝山 勝山商工会議所
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会館
福井 フェニックス
ワシントンホテル— 水曜日 —
福井北 教育 賀賀
鯖江北 丸岡
J.A花咲ふくい
丸岡ふれあいセンター— 木曜日 —
福井 ユアーズホテル
武生府中 武生市農業会館— 金曜日 —
福井西 平安 開
三国観光ホテル
二大 野江 NTT大野支店
鯖江商工館4階
福井 あじさい 國際交流会館

「ロータリアンとの触れ合い」

米山奨学生 岳 紅(ユエーホン)

皆様、こんにちは。また美しい紅葉を楽しめる季節になって参りました。私は岳紅と申します。中国遼寧省出身で、1992年中国医科大学を卒業しました。中国で5年間内科医として働いて、4年前日本に参りました。実は、私と主人および子供、家族三人でこの丸岡町営住宅で3年間暮らして、丸岡町の皆様にお世話になりましたことがあります。ですから、今日は里帰りのようで、すごく親しい感じがしております。昨年の今頃、米山奨学会の申請にきっかけ、ロータリーのことをインターネット、雑誌を通じて調べ、認識し始めましたが、ロータリアンとの触れ合いは、実は3年前からでした。光陰矢の如し、今振り返りますと、あっという間のようでしたが、私に対しては人生一番貴重な3年間で、生涯忘れられない3年間でした。

4年前、中国で内科医だった私が物価高騰の日本に私費で留学しようとした時、親、友人に強く反対されました。しかし、先進的な医学技術を持つ日本に留学するのは主人と二人の夢でありました。この夢を実現する為に、一抹の不安を持って、反対されながら、日本に旅立ちました。

異国他郷で、言葉の障壁、経済的な困惑等、夢に支えられながら二人は必死に戦って、心身共に崩壊の边缘に立ちました。この時、主人は光榮的に米山奨学生になりました。中国の話で、私達にはこれはまさに「雪中送炭」のことでした。意味は、すごく困った時、助けられたと言うことです。経済的な境遇の改善は勿論、皆様のお陰で、夢を実現できるようになります、それに、視野が広がって、新しい夢も見えるようになりました。その時から、主人と共に、ロータリアンとの触れ合いが始まりました。

毎年の夏、花火大会に際して招いてくれた一人のロータリアンがおられます。私達が困っている時、いつも相談に乗って下さいました。私達を日本人の心の中に導いて、日本のいろいろなことを深く認識させてくれました。

ある冬の夜のことでした。外は冷たい雨が降っています。もうすぐお正月です。奨学会をいただいた以来、経済的な困りがなくなり、安心的に勉強生活を送られましたが、豊かな品物を揃えてお正月を迎えるのは私達にはちょっと無理でした。電気代の節約を放念して、暖房を付けようとするとき、ドアのベルが鳴りました。ドアをあけると、このロータリアンのご夫妻でした。ある紙箱を渡してくれて、「つまらない物ですが、お正月に使って」とおっしゃって、部屋にも入らずに、また雨の中にお姿を消えました。私、ある暖流に全身を暖められ、傘を駐車場までさしてあげる意識さえもなくて、何を言えば良いのも分からなくて、ただ熱い涙と冷たい雨を任意に顔にまじわらせました・・・その年の正月は、家族三人ともにすごく暖かい気分で過ごしました。

私と主人共に忙しい勉強、研究生活を送っております。時間的にも、経済的にも子供を連れてどこに遊ばせる余裕はありませんでした。もう一人のロータリアンが、私達をいろいろ支えてくれると共に、こんなことまで気づいてくれました。

子供を何度も家まで迎えに来て、数々の楽しい日々を過ごさせて、私達を安心的に勉強させながら、私達の子供に対する申し訳ない気持ちも癒して下さいました。夏休みが始まりました。年中無休の私達は時間を合わせて子供をどこへ連れてあげる計画に悩んでいました。ある日、一本の電話がありました。「もし良かったら、りんりん君を海へつれて行きたいですが、いいですか」とのことでした。りんりんはうちの子供の愛称です。勿論うちの子供は大喜んでそのロータリアン一家と一緒に出かけ、家に帰りたくないほど楽しい思い出を作りました。そんな酷暑の中に、子供の面倒を見て下さったこのご夫妻が如何に疲れていたかなあと想像しながら、帰ってきた子供のかばんを開け、水泳服等を洗濯しようとしたら、かばんの中に、子供の服がきれいに畳んで置いてありました。その奥様が、自分のお疲れに気をせず、仕事に帰ってきた私の疲れだけに気を遣って、洗濯までして下さいました。私は無言でした。抱えている洗濯物から感じたのは母のような無限の愛でした。そんなに涙を流しやすい人間ではない私が、また涙がこぼれて、「有り難う御座いました、私の日本の母」と心中で叫びました・・・。

例は挙げきれないですが、ロータリアンの皆様はいろいろの形で私達を支えてくれました。「元気ですか、頑張って下さいね！」と優しい一声をかけて、励まして下さったりする方、子供への小遣い（私達に対しては「小遣い」ではありません）に名を乗せて少しでも私達を楽にさせようとしたりする方、日本の伝統文化を楽しませて下さったりする方、食事を通じて熱い人情に囲まれ、溜まっていたストレスを解消させて下さったりとする方・・・皆様の物事に対する扱い方、視野の広さ、困っている人に対する思いやり、向上の精神、心境の平和・・・既に三十代になっていた私達が皆様から「人間」と言う一課を受けました。こんなすばらしい皆様と接する機会を与えて下さった米山奨学会をすごく感謝しております。

奨学生になって以来、私は「奉仕」を良く目に、耳にして、この理解し難かった言葉をよく理解できました。全世界の子供の為にボリオ撲滅に努力すること、途上国の貧困の人に温かい援助の手を出し、学校を建てる事、見かけもしたことのない外国人留学生を支援すること・・・これらは如何にすばらしいことだと私は常に感動していました。それに、自分の奉仕の心、奉仕の精神を人に伝わる、他人に教えるのも、素敵な奉仕だと私は皆様から学びました。

中国では、「受人滴水之恩、当以涌泉相報」と言う諺があります。「人から一滴の水のような恩恵（おんけい）を受けたら、湧く泉で恩返しをするべきだ」という意味です。私はロータリーから湧く泉のような恩恵をいただいているが、今は一滴の水のような恩返しあえできておりません。この場を借りて、その限りない恩恵に感謝を捧げ、この胸いっぱいの敬意を表せていただきます。皆様のお陰様で、私はいい研究ができる、夢の医学博士号も取れるようになりました。それに、将来、ロータリーに入会し、皆様のようなすばらしい人間になって、皆様から学んだことを中国の人々、世界の人々に伝えて、ロータリー精神を発揚し続みたいという新しい夢も持つようになりました。この夢の為に、ロータリーに恩返しできるように、私は頑張ります。

ロータリアンの皆様、いろいろどうも有り難う御座いました。

ニコニコ箱

酒井重孝地区委員、小見山会長、石橋幹事、増澤君

藤本君、高嶋君、川端君、川中君、金君、澤田君

林田数一君、林田恒正君

林田千之君、前川君 本日の合計 55,000円

中田君、高木君 前回迄の合計 559,000円

釣部勝義君、山岸君、 本日迄の累計 614,000円

吉川君、奥村君、谷口君 年度との比較 735,000円

ロータリー財団特別寄付

金君、小見山君、高嶋君、竹澤君、吉川君

本日5件 計11,000円

本年度累計 108,000円

ロータリー財団ベネファクター積金

本日0件 計 0円

本年度累計 40,000円

米山奨学特別寄付

東君、岩田君、川端君、金君、小見山君、中山君、高嶋君

釣部勝義君 本日8件 計15,000円

本年度累計 123,000円

事務局 〒910-0254 福井県坂井郡丸岡町一本田34-7
J A花咲ふくい丸岡ふれあいセンター内

TEL (0776)67-0410 / FAX (0776)67-4811

例会場 J A花咲ふくい丸岡ふれあいセンター 3F

■ 出席 ■

本クラブの各会員はクラブ例会に出席しなければならない。会員は、本クラブの例会に出席したものとみなされるには、例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席するか、または、次のような方法で欠席をマークアップしなければならない。

本クラブの例会に定例の時の前14日または後14日以内に、他のロータリー・クラブまたは仮クラブの例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席すること。

出席報告

1210回 例会	会員数	当 日 出席者数	Make up	出席率
例会日 9/18	45	34	8	93.33%

■ 終結一欠席 ■

- ① ロータリー年度の各半期間において、マークアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも60パーセントに達していないなければならない。
- ② ロータリー年度の各半期間に開かれた所属クラブの例会総数のうち少なくともその30パーセントに出席しなければならない。
- ③ 連続4回例会に出席せず、またマークアップもしていない場合、自動的に終結するものとする。

例会変更受付のみクラブ名

例会日 毎週 水曜日 12時30分 会員数 年度初 41名

会報委員長 林田千之 副委員長 南出辰男

委員 川中晃一・中山敏夫・奥村雅徳・塚田修一
山下健治